

妙安寺だより 331

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

日本昔話より 「こぶとり爺さんと舌切り雀」 2

こぶとり爺さん

本来、陽気で明るい性格のお爺さんは、鬼と一緒に歌や踊りの輪に入って踊り始めました。そのうち、一番鳥の声を聞いた鬼たちは、お爺さんに向かって「今宵は楽しかった。爺さん、明日も一緒に踊ろうではないか、約束のしるしにそのコブを預かっておく」といって、お爺さんのコブをとりました。

このことを聞いた隣のお爺さんは、私もこのコブをとってもらおうと思い、大きな木の中で、鬼たちの宴会を待っていました。やがて、鬼たちがやってきて宴会を始めました。

鬼と一緒に歌や踊りの輪に入って踊り始めましたが、もともと、陰気で暗い性格のお爺さんは、歌や踊りはまるでだめで、鬼たちは怒って、昨日のお爺さんからとったコブを反対側の頬にくっつけてしまいました。ここまでが、本来の「こぶとり爺さん」の話です。

このあと、二人のお爺さんの運命を変える出来事が起きます。

コブがなくなったお爺さんは、「これから、大手をふって町に出かけることができるぞ」と、今まで蓄えたきたお金を湯水のごとく、毎日使っていました。

一方、一つのコブで暗い生活を送ってきたお爺さんは、左右の頬にコブができたことで、ますます陰気で暗い性格になってしまい、家に閉じこもるようになりました。(続く)

3月の行事予定

23日(金) 午後 1時より 春季お彼岸お施餓鬼法要

※卒塔婆供養申し込みは、お早めにお問い合わせいたします。

17日(土) お彼岸の入り 20日(火) お彼岸の中日

午前11時・午後1時 お彼岸読誦回向

※ご自由にお参りください。

春季お彼岸回向廻りは、副住職がお伺いいたします。

